

名古屋大学医学部附属病院

# 2024年度 がん看護研修

## ご案内



名古屋大学医学部附属病院 がん診療連携拠点病院事業

## がん看護研修概要

### 1. 目的

当院はがん診療連携拠点病院として、県内のがん医療に携わる看護師を対象にがん看護に関する研修を行うことにより、地域におけるがん看護の質向上に寄与することを目的とします。

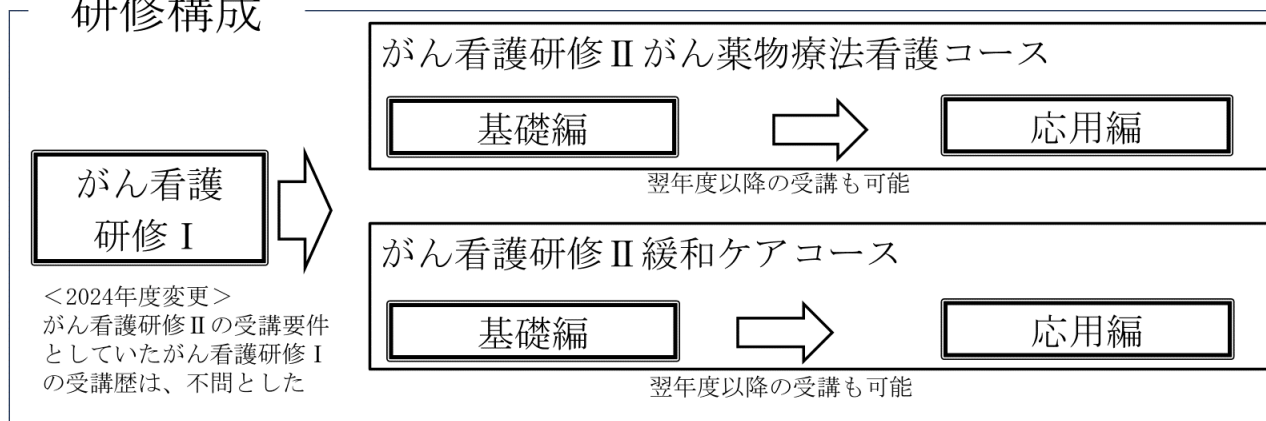
### 2. 概要

本研修は看護経験や看護師のニーズに合わせて、がん看護を段階的に学ぶことができるようにステップアップする研修構成になっています(下図)。がん看護研修Ⅰは、がん看護の基本を学ぶ研修内容です。がん看護研修Ⅱは、緩和ケアコースまたはがん薬物療法看護コースを選択でき、それぞれのコースにおける専門的な知識を学ぶ研修内容です。各コースは基礎編で知識を習得し、応用編で習得した知識を実践につなぐ研修構成としております。

今年度より、がん看護研修Ⅱの緩和ケアコース基礎編、がん薬物療法看護コース基礎編の対象者の要件を変更しています。これまで、受講できなかった皆様もどうぞこの機会にご受講ください。なお、2023年に日本看護協会が看護師のクリニカルラダーを看護実践能力習熟段階に改訂したことを受け、対象者の要件の表記を変更しています。昨年度までの対象と変更はございません。

<問い合わせ先>名古屋大学医学部附属病院 医事課医事係(喜久川) 電話(052)741-2111 (内線 2735)

## 研修構成



## 前年度受講生の声 (アンケートより)

### がん看護研修Ⅰ

- 看護の基本的な部分を強化し、身体面だけでなく、社会的・精神的な面の理解につながった。
- コミュニケーションスキルなど、現場で課題とされていることばかりですぐに活用できる

### がん看護研修Ⅱ がん薬物療法看護コース

#### 【基礎】

- 副作用症状とセルフケア支援は、今すぐ臨床で実践できる内容だった
- 患者の治療選択から、治療、治療中の支援や制度、退院や在宅に向けての援助方法や仕組みについて知ることが出来た

#### 【応用】

- 訪問看護の方を含めた他施設の方と話し、自分にはない視点を学びました
- 基礎編、応用編で学んだことを事例で考えることができた

### がん看護研修Ⅱ 緩和ケアコース


#### 【基礎】

- 苦痛のある患者に対して、色々な側面からの対応のみならず、家族への支援についてもより深く学ぶことができた
- 終末期だけでなく日々がん看護に携わる毎日が緩和ケアだなと感じました

#### 【応用】

- グループワーク、すごく良かったです。看護の共有は学びが深まります
- 患者の存在価値がわかるケア方法や、患者の自立を助ける支援など、実践に役立てたい

がん看護研修 I 研修概要	
研修目的	多様な状況にあるがん患者の QOL の維持・向上のために、がん看護の基盤となる考え方を理解できる。
一般目標	1. がん看護の基盤となる考え方を理解し、多様な状況にあるがん患者を支援するための基本的知識を習得する。 2. がん患者の QOL の維持・向上のための看護援助を理解することができる。
行動目標	1. がん医療と看護に関する基本的知識を習得できる。 2. がん患者のこころの変化を理解して基本的なコミュニケーションスキルを理解できる。 3. がん医療における看護倫理について理解できる。
研修科目	別紙の研修科目を参照
対象者	以下の要件にすべて該当する看護師 ・ 実務経験 1 年以上 ・ 日本看護協会「看護実践能力習熟段階」I 以上※ ・ e-ラーニングによる受講が可能 ※日本看護協会「看護実践能力習熟段階」に基づいた新人～IVの 5 段階
募集人数	100 名(先着順)
研修方法	e-ラーニング(オンデマンド配信)による講義
オンデマンド配信期間	2024 年 6 月 17 日(月)正午～7 月 16 日(火)正午
講師	がん看護専門看護師、がん看護領域の認定看護師、医師など
修了要件	講義 e-ラーニングすべて受講、確認テスト合格
受講推奨環境	ブラウザは、Chrome、Firefox、Edge のいずれかが使用でき、MP4ファイルの動画の再生ができる環境をご用意ください。
受講料	無料(通信料は自己負担)


がん看護研修 I 申込	
申込期間	2024 年 5 月 1 日(水) 正午～5 月 20 日(月) 正午(定員になり次第、申込は終了します)
申込方法	2024 年度がん看護研修 I 申込フォーム(下記 URL または QR コード)より入力してください。 <a href="https://forms.gle/KBsqGypyEi7MV6sw5">https://forms.gle/KBsqGypyEi7MV6sw5</a> 
受講可否の送付	応募者全員に施設代表者を通じて、受講の可否を郵送で連絡します。 2024 年 6 月 12 日(水)までに通知が無い場合は、問い合わせ先まで連絡してください。

## 2024年度 がん看護研修Ⅰ 研修科目

名古屋大学医学部附属病院

科目	内容	時間	講師
オリエンテーション	研修目的・目標について e-ラーニングによる受講の注意点	5分	がん看護専門看護師 山本 陽子
腫瘍学概論	がん細胞の特徴（発がん過程、がん関連遺伝子など） がんの疫学、がんの予防と検診、がんゲノム医療	60分	化学療法部医師 満間 綾子
がん医療と看護倫理	倫理の基本的な知識 がん看護における倫理的課題について	60分	山本 陽子（再掲）
がん患者とのコミュニケーションⅠ	がん看護実践におけるコミュニケーション 基本的なコミュニケーションスキル	50分	がん看護専門看護師 原 万里子
がん看護学概論Ⅰ	がんの病のプロセスを通して、がん患者が遭遇する喪失や危機的状況を理解する 喪失ががん患者に及ぼす影響について	60分	がん看護専門看護師 岡嶋 彩乃
がん治療と看護	手術療法と看護	30分	手術看護認定看護師 小島 和明
	放射線療法と看護	30分	副看護師長 杉田 淳美
	がん薬物療法と看護	30分	がん薬物療法看護 認定看護師 森田 まゆみ
	緩和ケア	30分	がん性疼痛看護 認定看護師 宮嶋 真理

がん看護研修Ⅱがん薬物療法看護コース基礎編 研修計画	
研修目的	がん薬物療法の特性を理解し、薬物療法を受ける患者に必要な看護援助を理解できる。
一般目標	1. がん薬物療法の特性を理解し、がん薬物療法看護に必要な基本的知識を習得する。 2. 多様な状況にあるがん患者を支援するための基本知識を習得する。
行動目標	1. がん薬物療法の基本概念について理解できる。 2. がん薬物療法看護の特徴と看護師の役割について理解できる。 3. 抗がん薬の安全な投与管理と曝露対策について基礎知識を習得できる。 4. がん薬物療法による主な副作用症状とセルフケア支援について理解できる。 5. がん患者の生活を支える社会的支援や、退院・在宅療法支援に必要な看護を理解できる。
研修科目	別紙の研修科目を参照
対象者	以下の要件にすべて該当する看護師 ・実務経験2年以上 ・日本看護協会「看護実践能力習熟段階」Ⅱ以上※ ・eラーニングによる受講が可能 ※日本看護協会「看護実践能力習熟段階」に基づいた新人～Ⅳの5段階
募集人数	100名(先着順)
研修方法	eラーニング(オンデマンド配信)による講義
オンデマンド配信期間	2024年7月16日(火)正午～8月13日(火)正午
講師	がん看護専門看護師、がん看護領域の認定看護師、医師など
修了要件	講義eラーニング全て受講、確認テスト合格
受講推奨環境	ブラウザは、Chrome、Firefox、Edgeのいずれかが使用でき、MP4ファイルの動画の再生ができる環境をご用意ください。
受講料	無料(通信料は自己負担)


がん看護研修Ⅱがん薬物療法看護コース基礎編 申込	
申込期間	2024年6月3日(月)正午～6月20日(木)正午(定員になり次第、申込は終了します)
申込方法	2024年度がん看護研修Ⅱがん薬物療法看護コース基礎申込フォーム(下記URLまたはQRコード)より入力してください。 <a href="https://forms.gle/L13USYsFzMkSazXp9">https://forms.gle/L13USYsFzMkSazXp9</a> 
受講可否の送付	応募者全員に施設代表者を通じて、受講の可否を郵送で連絡します。 2024年7月10日(水)までに通知が無い場合は、問い合わせ先まで連絡してください。

## 2024年度 がん看護研修Ⅱ がん薬物療法看護コース 基礎編 研修科目

名古屋大学医学部附属病院

科目	内容	時間	講師
オリエンテーション	研修目的・目標について eラーニングによる受講の注意点	5分	がん看護専門看護師 山本 陽子
がん薬物療法概論Ⅰ	がん薬物療法の基礎知識 ・薬物療法の目的、適応基準、標準治療 ・効果判定、有害事象の評価、スペシヤリティプログラムなど	50分	化学療法部医師 下方 智也
がん薬物療法看護概論	がん薬物療法看護の考え方、看護師の役割 (意思決定支援、セルフケア支援、チーム医療など)	30分	がん薬物療法看護 認定看護師 森田 まゆみ
がん薬物療法レジメンの特徴と看護	レジメンの理解 抗がん薬の投与前・中・後の看護のポイント	45分	がん化学療法看護 認定看護師 濱 昌代
投与管理と リスクマネジメント	血管外漏出の予防と発症時の対処法	30分	森田 まゆみ (前掲)
	抗がん薬の曝露対策	45分	森田 まゆみ (前掲)
がん薬物療法に伴う 副作用症状とセルフ ケア支援	過敏症・インフュージョンリアクション	30分	がん性疼痛看護 認定看護師 宮嶋 真理
	骨髄抑制	30分	がん看護専門看護師 岡嶋 彩乃
	悪心・嘔吐	30分	濱 昌代 (前掲)
	便秘・下痢	30分	乳がん看護 認定看護師 井馬 里海
	脱毛	15分	宮嶋 真理 (前掲)
がん医療政策と社会的支援	がんの医療政策 がん医療に伴う経済的問題(治療費、就労問題など) がん患者・家族が活用できる社会資源	50分	医療ソーシャルワーカー 森田 美妃 がん相談員 乾 由紀
がん患者の意思決定支援	患者・家族へのインフォームド・コンセント がん治療・療養過程における患者・家族の意思決定支援	70分	山本 陽子 (前掲)
がん患者の退院支援	退院支援の特徴とプロセス 退院支援・在宅療養支援に必要なアセスメント 活用できる診療報酬と社会福祉資源	30分	訪問看護認定看護師 野島 祐子
がん患者の在宅療養支援	がん患者の在宅医療と訪問看護、在宅ケアの特徴 在宅療養におけるチームアプローチ 事例紹介	50分	訪問看護ステーション太陽・高蔵寺 訪問看護認定看護師 丹波 ちひろ

がん看護研修Ⅱ緩和ケアコース基礎編 研修計画	
研修目的	緩和ケアの重要性を理解し、がん患者と家族を全人的に捉えて緩和ケアを実践できる。
一般目標	1. 緩和ケアの基本となる概念を理解し、症状緩和や意思決定を支援するための基本的知識を習得する。 2. 多様な状況にあるがん患者を支援するための基本知識を習得する。
行動目標	1. がん患者と家族の全人的苦痛のアセスメントに必要な知識を習得できる。 2. がん患者・家族の心理を学び、コミュニケーションスキルを理解できる。 3. がん疼痛を緩和するための、看護援助を理解できる。 4. がん患者の生活を支える社会的支援や、退院・在宅療養支援に必要な看護を理解できる。
研修科目	別紙の研修科目を参照
対象者	以下の要件にすべて該当する看護師 ・ 実務経験2年以上 ・ 日本看護協会「看護実践能力習熟段階」Ⅱ以上※ ・ eラーニングによる受講が可能 ※日本看護協会「看護実践能力習熟段階」に基づいた新人～Ⅳの5段階
募集人数	100名(先着順)
研修方法	eラーニング(オンデマンド配信)による講義
オンデマンド配信期間	2024年8月19日(月)正午～9月17日(火)正午
講師	がん看護専門看護師、がん看護領域の認定看護師、緩和ケアチーム医師および薬剤師など
修了要件	講義eラーニング全て受講、確認テスト合格
受講推奨環境	ブラウザは、Chrome、Firefox、Edge のいずれかが使用でき、MP4ファイルの動画の再生ができる環境をご用意ください。
受講料	無料(通信料は自己負担)

がん看護研修Ⅱ緩和ケアコース基礎編 申込	
申込期間	2024年7月1日(月) 正午～7月22日(月) 正午(定員になり次第、申込は終了します)
申込方法	2024年度がん看護研修Ⅱ緩和ケアコース基礎編申込フォーム(下記URL または QRコード)より入力してください。 <a href="https://forms.gle/UTBxaQ2Hva7i3owr7">https://forms.gle/UTBxaQ2Hva7i3owr7</a> 
受講可否の送付	応募者全員に施設代表者を通じて、受講の可否を郵送で連絡します。 2024年8月16日(金)までに通知が無い場合は、問い合わせ先まで連絡してください。


## 2024年度 がん看護研修Ⅱ緩和ケアコース 基礎編 研修科目

名古屋大学医学部附属病院

科目	内容	時間	講師
オリエンテーション	研修目的・目標について e-ラーニングによる受講の注意点	5分	がん看護専門看護師 山本 陽子
緩和ケア概論	緩和ケアの定義と基本理念 トータルペイン（身体的・心理的・社会的・スピリチュアルな苦痛）の理解	60分	名古屋大学大学院 教授 佐藤 一樹
がん患者とのコミュニケーションⅡ	がん医療における悪い知らせ コミュニケーションスキル	60分	がん看護専門看護師 原 万里子
がん患者の家族への援助	家族に及ぼす心理・社会的影響 家族のニーズ、家族が持つ問題 家族看護に関する理論の概要	45分	原 万里子（再掲）
症状マネジメント 「がん疼痛」	がん疼痛のメカニズム、評価、治療	30分	化学療法部医師 杉下 美保子
	がん疼痛の薬物療法	60分	緩和ケアチーム 薬剤師 渡邊 美菜子
	がん疼痛のアセスメントと看護	30分	がん性疼痛看護 認定看護師 宮嶋 真理
がん医療政策と社会的支援	がんの医療政策 がん医療に伴う経済的問題（治療費、就労問題など） がん患者・家族が活用できる社会資源	50分	医療ソーシャルワーカー 森田 美妃 がん相談支援員 乾 由紀
がん患者の意思決定支援	患者・家族へのインフォームド・コンセント がん治療・療養過程における患者・家族の意思決定支援	70分	山本 陽子（前掲）
がん患者の退院支援	退院支援の特徴とプロセス 退院支援・在宅療養支援に必要なアセスメント 活用できる診療報酬と社会福祉資源	30分	訪問看護認定看護師 野島 祐子
がん患者の在宅療養支援	がん患者の在宅医療と訪問看護、在宅ケアの特徴 在宅療養におけるチームアプローチ 事例紹介	50分	訪問看護ステーション太 陽・高蔵寺 訪問看護認定看護師 丹波 ちひろ



がん看護研修Ⅱがん薬物療法看護コース応用編 研修計画	
研修目的	がん薬物療法の特性を理解し、薬物療法を受ける患者に必要な看護援助を実践できる。
一般目標	がん薬物療法を受ける患者の包括的なアセスメントに基づいた看護援助を考え、実践に適用することができる。
行動目標	1. がん薬物療法に用いる薬剤の特性について理解できる。 2. がん薬物療法による主な副作用症状とセルフケア支援について述べることができる。 3. がん薬物療法を受ける患者の状況を包括的にアセスメントして、必要な看護援助を理解できる。
研修科目	別紙の研修科目を参照
対象者	以下の要件にすべて該当する看護師 ・実務経験2年以上 ・日本看護協会「看護実践能力習熟段階」Ⅱ以上※ ・名大病院主催のがん看護研修Ⅱがん薬物療法看護コース基礎編修了者(見込みを含む) ・eラーニングによる受講が可能 ・Microsoft Teams (リアルタイム)によるグループワーク参加が可能 ※日本看護協会「看護実践能力習熟段階」に基づいた新人～Ⅳの5段階
募集人数	30名程度(先着順)
研修方法	・eラーニングによるオンデマンド配信 ・Microsoft Teams (リアルタイム)によるグループワーク
オンデマンド配信期間	2024年9月24日(火)正午～10月22日(火)正午
グループワーク日程	①11月29日(金)9:00-11:00 ②11月29日(金)12:00-14:00 ③11月29日(金)15:00-17:00 ④11月30日(土)9:00-11:00 ⑤11月30日(土)12:00-14:00 ⑥11月30日(土)15:00-17:00 受講決定後に通知する①～⑥いずれかの日程で参加する。 グループ編成の関係上、日程の希望は受け付けていません。
講師	がん看護専門看護師、がん看護領域の認定看護師、医師など
研修後課題	所属部署において本研修を活かした看護を実践し、レポートにまとめて提出する。
修了要件	講義 eラーニングすべて受講、確認テスト合格、グループワーク参加、研修後課題の提出
受講推奨環境	1) 講義:eラーニング(オンデマンド配信) ブラウザは、Chrome、Firefox、Edge のいずれかが使用でき、MP4 ファイルの動画の再生ができる環境をご用意ください。 2) グループワーク:Microsoft Teams (リアルタイム) ・カメラ・マイクを使用 Microsoft のホームページで推奨環境を確認してください
受講料	無料(通信料は自己負担)


がん看護研修Ⅱがん薬物療法看護コース応用編 申込	
申込期間	2024年8月1日(木)正午～8月20日(火)正午 定員になり次第、申込を終了します。
申込方法	2024年度がん看護研修Ⅱがん薬物療法看護コース応用編申込フォーム(下記 URL または QR コード)より入力してください <a href="https://forms.gle/haiFCgVik1N5zcyjW6">https://forms.gle/haiFCgVik1N5zcyjW6</a> 
受講可否の送付	応募者全員に施設代表者を通して、受講の可否を郵送で連絡します。 2024年9月18日(水)までに通知がない場合は、問合せ先に連絡してください

## 2024年度 がん看護研修Ⅱ がん薬物療法看護コース 応用編 研修科目

名古屋大学医学部附属病院

科目	内容	時間	講師
オリエンテーション	研修目的・目標について e-ラーニングによる受講の注意点	5分	がん看護専門看護師 山本 陽子
がん薬物療法概論Ⅱ	がん薬物療法薬の分類と作用機序、特徴 ・細胞障害性抗がん薬 ・分子標的治療薬 ・免疫チェックポイント阻害薬、免疫関連有害事象	60分	化学療法部医師 下方 智也
投与管理とリスクマネジメント	抗がん剤投与におけるリスクマネジメント	30分	がん化学療法 看護認定看護師 濱 昌代
がん薬物療法に伴う副作用症状とセルフケア支援	口腔粘膜炎	20分	がん看護専門看護師 岡嶋 彩乃
	皮膚障害（ざ瘡様皮疹・手足症候群など）	40分	濱 昌代（前掲）
	グループワーク：事例検討（副作用とセルフケア支援）	60分	山本 陽子（前掲）
	グループワーク：患者指導について	45分	がん薬物療法 看護認定看護師 森田 まゆみ
がん薬物療法を受ける患者・家族のアセスメント	がん薬物療法を受ける患者・家族の置かれている状況 患者の身体的、精神的、社会的アセスメント	45分	森田 まゆみ （前掲）
外来におけるがん薬物療法と看護支援	外来におけるがん薬物療法の現状と診療報酬 看護師の役割と他部門との連携	20分	がん看護専門看護師 原 万里子

がん看護研修Ⅱ緩和ケアコース応用編 研修計画	
研修目的	緩和ケアの重要性を理解し、がん患者と家族を全人的に捉えて緩和ケアを実践できる。
一般目標	がん患者と家族を全人的に理解し、包括的なアセスメントに基づいた看護援助を考え、実践に適用することができる。
行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. がん患者のサバイバーシップに関する考え方が理解できる。</li> <li>2. 自己のコミュニケーションスキルについて振り返ることができる。</li> <li>3. がん患者のスピリチュアルペインを緩和するための看護援助を理解できる。</li> <li>4. がん性疼痛と疼痛以外の症状マネジメントについて習得し、がん患者の全人的苦痛を緩和するための看護援助を述べることができる。</li> </ol>
研修科目	別紙の研修科目を参照
対象者	以下の要件にすべて該当する看護師 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実務経験2年以上</li> <li>・ 日本看護協会「看護実践能力習熟段階」Ⅱ以上※</li> <li>・ 名大病院主催のがん看護研修Ⅱ緩和ケアコース基礎編修了者(見込みを含む)</li> <li>・ e-ラーニングによる受講が可能</li> <li>・ Microsoft Teams(リアルタイム)によるグループワーク参加が可能</li> </ul> ※日本看護協会「看護実践能力習熟段階」に基づいた新人～Ⅳの5段階
募集人数	30名程度(先着順)
研修方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ e-ラーニングによるオンデマンド配信</li> <li>・ Microsoft Teams(リアルタイム)によるグループワーク</li> </ul>
オンデマンド配信期間	2024年10月22日(火)正午～11月19日(火)正午
グループワーク日程	①12月13日(金)9:00-11:00 ②12月13日(金)12:00-14:00 ③12月13日(金)15:00-17:00 ④12月14日(土)9:00-11:00 ⑤12月14日(土)12:00-14:00 ⑥12月14日(土)15:00-17:00 受講決定後に通知する①～⑥いずれかの日程で参加する。 グループ編成の関係上、日程の希望は受け付けていません。
講師	がん看護専門看護師、がん看護領域の認定看護師、など
研修後課題	所属部署において本研修を活かした看護を実践し、レポートにまとめて提出する。
修了要件	講義 e-ラーニングすべて受講、確認テスト合格、グループワーク参加、研修後課題の提出
受講推奨環境	1) 講義:e-ラーニング(オンデマンド配信) ブラウザは、Chrome、Firefox、Edge のいずれかが使用でき、MP4 ファイルの動画の再生ができる環境をご用意ください。 2) グループワーク:Microsoft Teams(リアルタイム) ・カメラ・マイクを使用 Microsoft のホームページで推奨環境を確認してください
受講料	無料(通信料は自己負担)

がん看護研修Ⅱ緩和ケアコース応用編 申込	
申込期間	2024年9月2日(月)正午～9月20日(金)正午 定員になり次第、申込を終了します。
申込方法	2024年度がん看護研修Ⅱ緩和ケアコース応用編申込フォーム(下記 URL または QR コード)より入力してください <a href="https://forms.gle/G9VGFgagdPKhYv9T8">https://forms.gle/G9VGFgagdPKhYv9T8</a> 
受講可否の送付	応募者全員に施設代表者を通して、受講の可否を郵送で連絡します。 2024年10月16日(水)までに通知がない場合は、問合せ先に連絡してください

## 2024年度 がん看護研修Ⅱ緩和ケアコース 応用編 研修科目

名古屋大学医学部附属病院

科目	内容	時間	講師
オリエンテーション	研修目的・目標について e-ラーニングによる受講の注意点	5分	がん看護専門看護師 山本 陽子
がん患者との コミュニケーションⅡ	グループワーク：コミュニケーションについて	45分	がん看護専門看護師 原 万里子
がんサバイバーシッ プの理解	がんサバイバーシップの考え方 がんサバイバーへの支援の基本	30分	乳がん看護 認定看護師 井馬 里海
がん治療における チームアプローチ	がん医療におけるチームアプローチの重要性 チームメンバーの役割と活動 チームアプローチにおける看護の役割	30分	がん性疼痛看護 認定看護師 宮嶋 真理
症状マネジメント 「がん疼痛」	グループワーク：事例検討（トータルペインの理 解）	60分	山本 陽子（前掲）
症状マネジメント	消化器症状	30分	宮嶋 真理（前掲）
	呼吸困難	30分	がん看護専門看護師 岡嶋 彩乃
	倦怠感	30分	岡嶋 彩乃（再掲）
	せん妄	30分	精神看護専門看護師 田中 千夏
スピリチュアルケア	スピリチュアルとは スピリチュアルペインとは	60分	山本 陽子（前掲）